

2015 年度 センター試験 日本史 B (本試験) ワンポイント解説

第1問	問1	①=北米・その他の移住者はもっとも占有率が高い。 ②=中南米への移住者は増加。 ④=開戦以後、激減。
	問2	①=日本の韓国保護国化を承認した。 ③=日本の中国における特殊権益を認めた。 ④=日本はアメリカの約6割しか保有が認められなかった。
	問3	Xはこの渡航許可証は朱印状で、幕府が与えたものである。
	問5	①=雪舟は濃絵の手法を用いていない。
	問6	Ⅲ=6世紀(五経博士は513年来日) ⇒ I=百済や高句麗の滅亡は7世紀後半 ⇒ II=渤海は7世紀末(698年)に建国され、以後日本と交流した。
	第2問	問1
問2		X=脱穀用の竪杵。Y=収穫に用いる石包丁。
問3		b=田荘は豪族の直轄地であり、ヤマト政権の直轄地は屯倉である。 c=倭の五王の活躍時期は5世紀であり、『魏志』倭人伝は3世紀の倭国の様子をあらわしている。
問5		II=大宝令の施行は701年(文武天皇) ⇒ I=健甕は792年(桓武天皇) III=元命が訴えられたのは988年
問6		①=藤原実政に寄進したのは寿妙の孫中原高方の時である。
第3問		問2
	問3	Y=天文法華の乱は法華宗が延暦寺により、攻撃された事件である。
	問5	②=漢城を占領したのは文禄の役。 ③=当時の中国王朝は明。 ④=朝鮮水軍を率いたのは李舜臣。
	問6	④=太閤検地の際、枘の容量を京枘に統一したのは豊臣秀吉である。
第4問	問1	①=寛永の飢饉を機に田畑永代売買の禁が發布された。 ②=上げ米とは大名1万石につき米100石を上納させた政策である。 ④=富裕な商人が米を買い占めたため、米価は高騰した。
	問5	I=寛政期(1798年)に派遣 ⇒ III=レザノフ来航後(1804年)の文化・文政期に松前奉行を設置し、全蝦夷地を直轄化した。(1807年) ⇒ II=天保の薪水給与令(1842年)
第5問	問3	①=八幡製鉄所は官営である。 ②=小作地率は増加した。 ③=1880年代前半の松方財政を受け、銀本位制が確立して物価が安定し、金利が低下して株式取引は活発になった。
	問4	X=日本鉄道会社や山陽鉄道会社、九州鉄道会社などがあつた。
第6問	問1	①=日本最初のメーデーは1920年であり、その時点で集会条例はすでにない。 ②=戒厳令は発令されていない。 ③=殺害されたのは北一輝ではなく、大杉栄である。
	問2	③=高山樗牛の雑誌『太陽』は1895年に創刊された。
	問3	X=悲母観音は明治期の狩野芳崖の作品である。

第6問	問5 問6 問7 問8	<p>a=日中戦争勃発当時、近衛文麿内閣は不拡大方針であったが、軍部の圧力に屈して、やがて兵力を増派して戦線を拡大していった。また、日中両国ともにアメリカの中立法の適用を避けるためなどの理由から、正式に宣戦布告をしなかった。</p> <p>c=小説も検閲の対象であった。1938年に石川達三は『生きている兵隊』を中央公論に発表した。掲載誌は即日発売禁止の処分となった。</p> <p>X=南京（地図上-a）のことである。</p> <p>Y=シンガポール（地図上-c）のことである。インドネシアのバタヴィア（地図上-d）はオランダ領であることから、消去法でも判断できる。</p> <p>b=石橋湛山内閣ではなく、第一次吉田茂内閣である。</p> <p>d=参議院ではなく、貴族院である。</p> <p>①=日ソ中立条約ではなく、日ソ共同宣言である。</p> <p>③=国民徴用令は1939年に出されたもので、GHQが発令したものではない。</p> <p>④=米軍が大量の物資を供出したのではなく、米軍による膨大な特需が発生したため、日本経済は活気を取り戻した。</p>
-----	------------------------------	---